

AIMaP 共催イベント企画(案)

2021 年 2 月 18 日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
統計数理研究所

【タイトル】「データサイエンスから見た人工知能」 講演会

【企画経緯】本講演会は、文部科学省技術試験委託事業「数学アドバンスイノベーションプラットフォーム (AIMaP, 幹事拠点: 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 (IMI))」の訴求活動と呼ばれる産学連携活動の一環として行われます。統計数理研究所 (ISM) は、本活動を支える 12 拠点の中でデータサイエンスの国内最大の研究拠点として、データ駆動型科学の限界突破と活動範囲の拡大を目指して平成 29 年から参画しておりました。統数研は IoT、AI 等の先進技術が開く可能性に必要なシステム化を産業界主導で目指す (一社) システムイノベーションセンター (SIC) と連携協定を結びました。両者での共催行事を AIMaP 訴求活動と位置付けるべく協議してまいりましたが、「データサイエンスから見た AI」をテーマに産学の議論の場を形成することといたしました。

【企画趣旨】人工知能のシステムとしての機能はブラックボックス化しているかに見える場合もありますが、その背後にある統計的機械学習理論や効率的な最適化の数理は普遍的なものです。人工知能に関連するアルゴリズムが、問題に応じて何を数理的に成し遂げようとしているかは共通と考えます。統数研側は、そのような産業人として必要な考え方をこのイベントで提供したいと考えています。ここでは、統数研からデータサイエンスから見た AI について、あまり数理に偏らない講演を提示いたします。それを受けて産業界や人工知能分野で産学のブリッジングを果たしている方々から、実装に必要な様々な考え方を追加・議論いただくことで、AI を効果的に利用するためのデータサイエンスの基本知識 (Body Of Knowledge) に発展させるキックオフができればと考えています。ご関心のある産官学のご参集をお願い申し上げます。

【主催】大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 統計数理研究所 (ISM)

【共催】九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 (IMI)

【後援(予定)】

(下記の各機関・組織への「後援」依頼の手続きはすべてこれから統数研より行う予定です。)

一般社団法人システムイノベーションセンター (SIC)、

横断型基幹科学技術研究団体連合、ヘルスデータサイエンティスト協会、

データサイエンティスト協会、統計関連学会連合、人工知能学会、IBIS

以上